

# こんにゃく登録農薬適用表(殺菌・殺虫・除草剤・展着剤)

登録内容は2021年10月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	農業総使用回数、合せて1回以内	<圃場> 2~3ml/穴	—	ケラ、センチュウ類、ネキリムシ類、ハリガネムシ類 乾腐病、根腐病、白絹病、紋羽病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	IRAC 8	ドロクロール	—	1回	農業総使用回数、合せて1回以内	<圃場> 2~3ml/穴	—	センチュウ類、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、乾腐病、根腐病、白絹病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	植付21日前まで	—	1回	20~30kg	—	根腐病、白絹病、乾腐病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		25、41	アグリマイシン-100	植付前 収穫30日前まで	6回以内 (但し、種芋の浸漬は1回)	250~500倍 1時間種芋浸漬 1,000倍(100~300g)	— 100g	腐敗病 腐敗病、葉枯病	○	○	水和剤	浸漬 散布	オキシテトラサイクリン、ストレプトマイシン 硫酸塩	
	劇	3	トリフミンジェット	植付前 密閉出来る場所	1回	2㎡当り50~100g	—	乾腐病	○	○	くん煙剤	くん煙	トリフルミゾール	
		3	トリフミン乳剤	植付前	1回	30倍(種芋1㎡当り150ml)	—	乾腐病	○	○	乳剤	芽基部に散布	トリフルミゾール	
		3	トリフミン水和剤	植付前	1回	50倍(種芋1㎡当り150ml)	—	乾腐病	○	○	水和剤	芽基部に散布	トリフルミゾール	
		31	スターナ水和剤	植付前 収穫14日前まで	1回 5回以内	30~100倍 種芋に150ml/㎡吹付 1,000倍(100~300g)	— 100g	腐敗病	○	○	水和剤	種いも吹付け 処理 散布	オキシソリニック酸	
		7	モンカットファイン 粉剤20 DL	培土時(収穫30日前まで)	1回	3kg	—	白絹病	○	○	DL粉剤	株元散布	フルトラニル	
		14	リゾレックス水和剤	収穫30日前まで	3回以内	1,000倍 (3g/㎡)	100g	白絹病	○	×	水和剤	株元灌注	トルクロホスメチル	
		M1	キノンドー水和剤40	収穫30日前まで	8回以内	500~600倍 (100~300g)	200~167g	腐敗病、葉枯病	○	×	水和剤	散布	有機銅	
		M1	ヨネボン	収穫30日前まで	7回以内	500倍 (100~300g)	200ml	腐敗病、葉枯病	○	×	乳剤	散布	ノニルフェノール スルホン 酸銅	
		M1	4-4式ボルドー液	—	—	生石灰・硫酸銅共に40g/100g	—	腐敗病、葉枯病	○	×	—	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	Zボルドー	—	—	500~800倍 (100~300g)	200~125g	腐敗病、葉枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	ICボルドー66D	—	—	40倍 (100~300g) 40~80倍 (100~300g)	2.5g 2.5~1.3g	腐敗病 葉枯病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	
		NC M1	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	500倍 (150~500g)	200g	葉枯病	○	△	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅	

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		4	アドマイヤー1粒剤	培土時(基根伸長期) 生育期(収穫21日前まで)	1回 2回以内	3~6kg 6kg	— —	アブラムシ類	—	—	粒剤	株元土壌混和 茎葉散布	イミダクロプリド	
	劇	4	アドマイヤー顆粒水和剤	収穫21日前まで	2回以内	10,000倍 (100~300g)	10g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	イミダクロプリド	
		1	スミチオン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	MEP	
		29	ウララDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
		11	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期但し収穫前日まで	—	1,000倍 (100~300g)	100g	ハスモンヨトウ	中	短	顆粒水和剤	散布	BT	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期 植付前又は植付後萌芽前	3回以内	薬量200~300ml (100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草 茎葉散布	グルホシネート	
	雑草 生育期、畦間処理(収穫30日前まで)		薬量300~500ml (100~150g)							
土壌処理 除草剤		クレマートU粒剤	植付後又は培土後(雑草発生前) ただし収穫120日前まで	1回	4~6kg	一年生雑草	粒剤	全面土壌散布	ブタミホス	
		クレマート乳剤	植付後又は培土後(雑草発生前) ただし収穫120日前まで	1回	200~400ml (100~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期 イネ科雑草3~5葉期 (収穫60日前まで)	1回	150~200ml (100~150g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草 茎葉散布	セトキシジム	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用農薬	剤型	使用方法	成分名	備考
展着剤		ステツケル	—	—	100ml/散布液10g (100倍)	適用農薬 銅水和剤、ボルドー液	—	添加	パラフィン	
		ハイテンパワー	—	—	1~2ml/散布液10g(5,000~10,000倍)	適用農薬 殺菌剤、殺虫剤	—	添加	ホリオキシルキレン脂 脂肪酸エステル	